

施設名 : 青梅市沢井保健福祉センター

指定管理者名 : 青梅市社会福祉事業団

担当課 : 高齢者支援課

評価項目		評価内容	指定管理者 評価	確認資料等	市評価	判断のポイント
業務履行	業務体制	サービス提供や施設等の維持管理のために適正な人員配置がされているか。	○	月報 シフト表	○	① 職員配置の状況 ② 職員の出退勤の確認方法(出勤簿、休暇届) ③ 防火管理者の選任状況
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	○	事業計画書 月報	○	① 指定管理者制度による事業計画書、実績報告書(管理運営業務の実施および利用状況、管理にかかる経費の収支状況)の提出
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	○	月報 現地調査	○	① 利用者のサービス提供状況の記録や日々のサービス提供記録票の作成方法と管理方法 ② 苦情・要望等の記録の管理方法
	個人情報	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。	○	現地調査	○	① 個人情報保護に関する諸規定の整備状況 ② 個人情報保護、漏えいに対する対策 ③ 個人情報が記載される書類や記憶媒体の保管方法
	自己評価	利用者満足度の向上のための対応はされているか。	○	アンケート	○	① 適切に利用者の意向調査を行っているか。
維持管理	清掃	指定管理者の管理区域内は、定期的かつ適正に清掃がされているか。	○	委託契約書 現地調査	○	① 施設の清掃状況 ② 植栽の手入れ等
	修繕	管理区域内の小破修繕、簡易修繕は適正にされているか。	○	伝票 現地調査	○	① 小破修繕を行っている。
	安全性	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。	○	現地調査 点検報告書	○	① 利用者の施設外への出入りの確認(鍵の施錠状況) ② 玄関や出入り口の門扉、窓の施錠状況 ③ 屋上出入り口や非常口の管理(鍵の施錠状況)
	警備	管理区域内の保安・秩序の保持	○	委託契約書 報告書	○	① 火災、盗難等事故発生の防止策 ④機械警備の状況 ② 施設内の巡回警備状況 ③ 出入口の門扉、窓等の施錠の確認状況
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	○	緊急連絡網 緊急時対応マニュアル	○	① 災害発生時の緊急連絡体制 ② 緊急時対応、防火対策に関するマニュアルの有無
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	○	現地確認	○	① 災害発生を想定した避難訓練の実施状況 ② 災害発生を想定した緊急時の対応研修の実施状況
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	○	会計簿 事業報告書	○	① 会計簿等の保管状況(年度業務の終了後、5年間保存) ② 業務委託契約書の内容と確認
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	○	現地確認	○	① 現金および通帳等の保管状況 ② 印鑑の保管状況 ③ 金庫、書庫等の鍵の管理

【評価欄の評点】◎:協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。 ○:協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。

△:協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。 ×:協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
◎	0
○	13
△	0
×	0

記入欄

本施設の管理運営については、開設当初から現在まで継続して青梅市社会福祉事業団が受託してきた。施設の経年劣化等による設備面等での小さなトラブルは皆無ではないが、長年培ってきたノウハウと、協定の遵守および仕様に沿った的確な管理運営により、大きなトラブルや事故等を発生させることなく、利用者に対して適切なサービスが提供できていると考えている。

施設や設備の老朽化に伴う大規模な改修工事等については、市の財政事情等にも関することであるが、利用者の安全に関連する修繕等については、その都度、市と協議の上で対応してきたところであり、今後も市の担当部局との緊密な連携と協議を継続する中で、適切に対応していきたい。

また、施設としての大きな事業である入浴サービスについては、濾過器配電盤から出火が発生したことで、濾過用ポンプの故障が発生したために、入浴サービスができない期間もあったが、昨今、他の入浴施設等で発生しているレジオネラ菌による事故を未然に防ぐため、業者による保守点検を年2回、レジオネラ菌検査等を年2回以上それぞれ実施しているほか、日常管理の中でも残留塩素管理等を適切に行っていることにより、基準値を超える量のレジオネラ菌が検出されることなく、利用者にとって快適で安全な入浴サービスの提供が図られている。

一方、教養講座については、当分の間は、今まで市が実施してきた教養講座を継続しつつも、新たな教養講座の企画立案に向けて、利用者のニーズの把握に努めているところである。

利用者からの要望・苦情等については、職員と利用者との日々のコミュニケーションの中で聴き取りを行い、必要に応じて市に報告しているところであるが、アンケート調査についても、年1回、8月ごろに実施し、市へ報告してきたところである。

当施設は令和2年3月末をもって廃止される予定ではあるが、高齢者の地域の「交流の場」、「憩いの場」、そして「健康維持増進の場」となることが当施設の大事な役割であることを常に意識し、最適なサービスの提供に努めたい。

2 市評価における評価理由、意見等

評点	数
◎	0
○	13
△	0
×	0

記入欄

青梅市地域保健福祉センターの管理運営について、評価項目に従い評価した結果、適正に管理運営されていた。

本施設の管理については、適正かつ円滑な管理運営が期待できるものであった。実績報告書、利用状況報告等の各種報告事項や、施設の管理運営、設備保守等について、適切な管理が行われていた。高齢者教養講座については年間通して開催できており、年1回行われるアンケート調査にて利用者の声を的確に捉え、利用者の立場に立った対応に努めていた。

建物の老朽化に伴う、不具合の報告が多くあがったが、その都度協議、対応等を迅速に行っており、今後も最良な対応に期待できる。